

平成22年度第1回港区3R推進行動会議議事録（要旨）

平成22年5月27日

まとめ

- 5月22日（土）エコライフ・フェアMINATO2010出展、古着回収で約2100kgを回収。
- 6月に開催予定の第2回企画会議では、食の循環をテーマにする。ドギーバッグや段ボールコンポスト等の全体の構成を検討するとともに区民向け学習会の内容も検討する。
- 7月23日（金）、親子を対象とした段ボールコンポスト講座を開催予定。

区挨拶

- 港資源化センターの設備を変更する計画（案）を作成し、説明会を行った。計画が施行すれば23区内で唯一、自区内でプラスチックの中間処理をするようになる。
- 製品プラスチックの中間処理施設には環境大臣等の視察もあり、様々なところから注目を浴びている。

1. 3Rフォーラム（みる・きく・さわるの一週間）の報告

事務局からの説明

- 平成22年3月11日（木）～15日（月）にエコプラザにて開催。
- 期間中は、約400名が来場。3Rに取り組む企業や大学、団体からのパネル出展。
- 3R事業者研究会では、積水化学工業(株)東京本社の見学を行った。
- 3月14日（土）は、3R講談「今日から3R」と「浜野矩随」を講談師の神田織音氏により実施。お弁当教室で講師を務めた野菜ソムリエCanaco氏と段ボールコンポスト講習会の講師を務めた3R推進行動会議委員藤野珠枝氏によって、トークリレーを実施。50名程度の参加があった。

意見交換

- パネル出展の依頼時期が遅く、準備が慌ただしかった。必要なら早めに依頼がほしい。
- 料理の講演は、実演がないと伝わりにくい。

2. エコライフ・フェアMINATO2010出展の報告

事務局からの説明

- 5月22日（土）有栖川宮記念公園にて開催された、エコライフ・フェアMINATO2010にブース出展。
- 行動会議委員による出展案内をステージで行い、古着回収と3R推進行動会議の活動内容のパネル展示を行った。
- 古着回収では、約350件から約2100kgの古着や靴が集まった。

意見交換

- 日常的な回収、シーズンごとの定期回収や行政内でのシステム化、店舗との共同回収など回収方法について意見があった。今後検討していく。
- 古着だけでなく、食器や雑貨など、多様なものを集めるのもよい。

- 不用品の持ち込みに対するバザー券提供の一方で、バザーによる販売を行っており、フェア全体で統一したルール化を考えた方がよい。無償でもいいのではないかと。
- 配布したバザー券を清掃協力会の古着バザーで使用できるとよい。

3 . 平成 2 2 年度 3 R 推進事業の進め方

事務局からの説明

- 「3 Rの担い手を拡充するためにターゲットをしぼったアプローチ」、「新たな3 Rの取組を広げるために対象とする品目や行動メニューの増加」、「事業の企画運営への委員や担い手の主体的な参加」、の3つの方向性で進める。
- リデュースキャラクター設置について検討する。
- 清掃事務所の事業者セミナーとの連携を検討中。

意見交換

- 3 Rの展開する地域（港区内）のビジョンを検討する必要がある。まず行動会議委員で検討し、そのことを区民・事業者と共有できるようにしていけるとよい。最近、ドギーバッグが使える店舗もあり、ドギーバッグ普及組織などの動きもある。そういった動向を踏まえて、食品ロスの取組としてドギーバッグ等の普及なども考えられるとよい。
- リデュースキャラクターを新たに作るのではなく、今ある2つのキャラクターを活かした方がよいように感じる。名称募集だけではなく、他のキャラクターとの関連を持たせたほうがよい。
- 昨年度のリユースの名称募集で500人の応募者のうち450人が小中学生からの応募だった。リデュースキャラクターの名称募集や普及を通じて、子どもたちに3 Rを広く知ってもらえる機会をつくりたい。名称募集は3 R啓発にもつながるので、小学生低学年を中心に行うだけでなく、高学年や中学生にも幅広く呼びかけていくべきである。
- デザイナーがリデュースキャラクターをつくるのではなく、他キャラと関係性を持たせる観点からデザインも募集するのがよい。
- スーパーマーケット協会では、スーパー見学をテーマにした子ども向けのパンフレットをつくっている。今後は、こういった既存のパンフレットを活用できるとよい。企画間の連携や事業者等との連携を考えていく必要がある。
- 港区としては、ごみの量を減らし、分担金を少なくしていきたい。特に生ごみの減量を進めていきたい。

4 . その他

- 6月に実施予定の第2回企画会議については段ボールコンポストだけでなく、食の循環というテーマで検討する。3 R推進員制度については、既存制度との調整が必要なので、区で再度検討する。
- リユース食器の洗浄に使える予算を確保している。活用できるイベント等があれば相談して欲しい。
- 6月5日（土）芝公園にて、「ふれ愛まつりだ、芝地区！」を開催。その中でリユース食器も使う予定になっている。
- 3 Rの普及のためには、ライフスタイルにあわせてこういった取組がよいのか考える必要がある。個々のライフスタイルの中に、なぜ3 Rに取り組むのか、なにをすべきなのかを考えていく必要がある。